

令和5年度幼稚園学校評価（神西幼稚園）

分野	評価項目	評価の着眼点	自己評価		学校関係者評価	評価結果を踏まえた今後の取り組み
			達成及び取組状況	評価	評価	
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	・年間教育目標及び月間目標等を計画的に設定し、日々の保育に活用している。その結果、保育内容全般について、保護者からも一定の評価を得ることができた。 ・教職員アンケートから、「教育課程の評価」の数値が低く、評価を保育に生かす取組は十分とは言えない状況である。	3	3	・年間計画に基づいた保育を着実に進めてきたが、地域の自然や神楽など地域文化と連携した活動については、今後も継続して進めていきたい。 ・毎月発行の「園だより」で各学年の目標や生活指導について保護者に示しているため、今後も継続して知らせていきたい。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育を行っているか。	・各担任は、保護者との日頃のコミュニケーションを通して、園児一人一人の状況や特性を把握しながら保育を行っている。 ・保護者アンケートで、「子供をよく理解し、意欲や自信を引き出す保育を行っている」は高評価である。	3	3	・園児個々の個性や特性の理解を図り、個に応じた保育ができるよう、職員間の連携を図るとともに、日頃から保護者との情報交換をいっそう図っていく。
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	・特別な支援が必要な園児に対しては、本人の思いを大切にしながら、全職員で共通理解のもと保育を行ってきた。 ・教職員アンケートでは、「支援を要する幼児への理解と計画的・組織的な指導について一定の評価が得られている」。	3	4	・支援が必要な園児について必要に応じて「支援シート」を作成し、職員の共通理解のもとで活用している。さらに、保護者や医療機関との情報共有をさらに重視していく必要がある。 ・必要に応じて、神西小学校「幼児通級指導教室」とも、特別支援教育に係る幼小連携を深めていきたい。
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	・PTA研修では、「親学」研修で保護者相互の話し合いなどを通して、間接的に人権意識の向上につながるものとなった。 ・『パースデプロジェクト』では、出産について園児に考えさせ、生命を大切にする意義ある取組となった。	4	4	・教職員研修、PTA研修を計画的に実施することで、職員と保護者の人権意識のいっそうの向上を図りたい。 ・遊びの中で心のない言動については、職員間での共通理解を図るとともに、場面を逃さず指導していくようにしたい。
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、園行事を例年通りできるようになった。運動会や生活発表会など、60周年を冠した行事とし、園児と保護者が共に盛り上げられる行事となった。 ・保護者アンケートでは、かなり肯定的な評価となった。	4	4	・これまでの行事を継続する一方、幼児の成長に何が必要なのかを見直し、内容と方法の工夫改善を行っていきたい。 ・地区文化祭や笹巻き体験など、地域団体と連携した行事についても年次計画のもとで参加していきたい。
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	・小学校での行事見学や授業参観など、園長のほか学級担任も参加し、小学校の指導場面や児童の様子を知る機会を積極的に設けていきたい。 ・小学校の担任にも園での保育を参観してもらいたい。	3	3	・取り組みが、保護者にしっかり理解されるよう関係づくりをさらに深めていきたい。 ・出雲サンサン保育園との交流は回数を増やす一方、小学校での行事参観、授業見学など取り組みを今後も続けたい。
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	・読み聞かせ、礼儀作法（茶道）の時間、レッツダンス（ズンバ）、ジミ探り、神楽体験など、計画どおり実施できた。 ・日頃から、コミュニティセンター利用だけでなく、避難訓練等での連携ができていることは意義が高い。	3	4	・地域人材や団体との連携した活動は、今後も積極的に実施していきたい。 ・保護者と連携した園行事やPTA活動については、保護者の過重負担とならないよう配慮しながら継続していきたい。
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	・出雲市幼稚園教育研究会が行う研究発表会や保育研修会に職員が参加し研修できたことは有意義であり、今後の保育に活かせるものとなった。担任相互で情報共有していきたい。	3	3	・園内研修について、人権・同和教育をはじめ、保育技術向上のための研修を進めていく。 ・夏季休業の機会を利用して、市幼研とも連携して職員の研修への参加を進めていく。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	・個人情報に関しては、個人情報の漏えいにつながらないよう園外への持ち出しを制限するなど管理を徹底している。 ・職員に産前休暇に入る者、育児休業から復帰する者があつたが、引継ぎを適切に行い、混乱なく学級担任としての業務移行ができた。	3	3	・個人情報の管理について、引き続き園内研修などを通して全職員で共通理解を図っていく。 ・学級担任を中心に、園児の情報を共有し、全職員で保育にあたる体制を今後も大切にしていきたい。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	・避難訓練を毎学期計画し、園児や職員の危機意識と対応力を高め、意識向上に努めてきた。 ・「引き渡し訓練」で保護者への緊急連絡が必要な場合には、メール配信システムを活用し、適切な対応が実施できた。	4	4	・火災や地震への対応訓練を実施してきたが、いかなる場面でも、冷静で適切な対応ができるようコミセンとも連携して職員の研修と訓練を進めていきたい。 ・保護者への引き渡し訓練も継続して実施していく。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	・毎月、安全点検を実施し、必要に応じて修繕を行い、園児の安心・安全な園生活につなげている。園舎屋上の雨漏りや遊戯室の水銀灯交換など、修繕を行っている。 ・保護者アンケートでは、「施設・設備の安全」について全項目中で最高の評価であった。	4	4	・毎月の安全点検を継続実施するとともに、雨漏り、テラスのひび割れなど、必要な修理については市教育委員会と連携して計画的な修繕を進めていく。

※評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する